

液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成

報 告 書

平成 29 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本海事検定協会

(検査第二サービスセンター)

目次

1. 目的
2. 調査方法
3. 調査結果
4. まとめ

1. 目的

当会の長年にわたる石油・化学品貨物等の液体貨物輸送に関わる検査・分析業務を通して得られた知見、及び公的規格や団体規格などの多種・多様にわたる分析の規格と関係規則を基に、「ケミカル船/LPG船清掃検査指針」を作成し Web 上に公開する。液体貨物の海上輸送に携わる輸出入商社、損害保険会社、船会社、製造会社等の不特定多数の関係者へ、ケミカル船/LPG 船で貨物を積替える際の、クリーニング方法、前荷と積荷の関係・注意事項等について総合的にまとめて説明する事で我々の不可欠な物資、エネルギー等の取引の円滑化に寄与する。

2. 調査方法

当会に於ける原油・石油製品・化学品に精通している者 15 名（検査第二サービスセンター及び各事業所・事務所）にて、液体貨物の取扱いに関わる情報が収められている「CTS HANDBOOK 第Ⅱ版」（1976年発行、当会編集）に記載された内容に関し、長年にわたり検査・分析業務を通して得られた知見及び経験、最新の国内外規格・法令を参照して見直し・加筆し、最終的に 1 つの資料データとして統合する。成果物としてまとめた資料を Web 上で公開する。

3. 調査結果

「CTS HANDBOOK 第Ⅱ版」に記載がある内容について、抜本的に見直し“ケミカル船/LPG 船清掃検査指針”としてまとめた。現在海上輸送されている液体貨物を 43 種類に再分類し、各品目について貨物の性状・規格を基に危険物船舶運送及び取扱貯蔵規則、IBC Code、IGC Code 等も参照し個別にまとめた。クリーニング方法については過去の検査において得られた実績を基に記載した。

4. まとめ

見直し・改訂した内容について不特定多数を対象に当会ホームページ上で公開し、これらのデータは定期的に見直し、必要に応じて Update を行う。